

# 人権まちづくり新聞



第26号  
編集発行  
枚方人権  
まちづくり協会

生徒たちに正面からぶつかり支える

## 映画「かば」上映会を開催

二月二日に枚方人権まちづくり協会自主事業として「かば」を上映しました。

中学校に新任で赴任した女性の先生は、一部の生徒が反抗的な態度をとるため、思うように授業を進められないと自信を失いかけてます。

そんな時、その先生の特技を生かすよう野球部のコーチを勧めたのが「かば先生」こと蒲益男先生だったので



川本貴弘監督

す。かば先生たちが、生徒の家庭の状況も把握しながら生徒に向き合う姿を見て、先生も生徒に寄り添い、少しずつ成長していきます。生徒と一緒に。

いつしか「しんどい背景を抱える生徒たちと出会えて幸せ」と話す先生。以前は大喧嘩をしていたのに肩を組みながら笑いあう生徒たち。「笑顔」っていいなあと感じた映画でした。

上映後、川本監督のトークがあり、映画が独り歩きしないように制作したきっかけや想いを伝える場を上映後に設けているということですが、「子どもと向き合う」ことを大事にしたかった、

ラストシーンは生徒の笑顔で終わらせたかったという言葉が印象的でした。監督への質問も活発に行われ、会場は最後まで熱気に包まれていました。

### ◆シリーズ◆ 人権な街角

### 聴覚障がい者に配慮した指差しカード

「温めますか？」「箸は必要ですか？」「袋は要りますか？」など、コンビニでの買い物では店員との受け答えが必要な場面があります。

しかし、「聴こえない」

「聴きとりにくい」など、聴覚に障害のある人にとつては、手話ができる店員も少なく、筆談には手間がかかるということもあり、店員とのコミュニケーションがとりにくく、買い物しづ

らいという現実があります。最近、分かりやすいイラストを使い、指差しで意思を伝えることができるコミュニケーション・カード（写真）を設置するコンビニが市内にも登場しました。これなら、意思が伝えやすく、買い物を助ける役割を果たします。

今後、「レジ袋の要・不要」だけでなく、多様なパターンのカードが、すべてのコンビニに設置されるといいですね。

### 2023年度相談事業

- 〈人権まちづくり協会〉  
サンプラザ1号館5F  
TEL 072-844-8788  
[人権なんでも相談]  
月・水・木・金 9:00 - 17:30  
(第1水曜・第4木曜は  
12:45~17:30)  
火曜 12:45~20:00
- 〈男女共生フロア・ウィル〉  
サンプラザ3号館4F  
TEL 072-843-5636  
■女性のための相談  
[電話相談]  
火15:00 - 20:00  
水13:00 - 17:00  
木10:00 - 15:00  
専用電話072-843-7860  
[面接相談]※  
水13:00 - 16:10  
木14:50 - 19:30  
金10:00 - 15:00  
[法律相談]※  
第1土・第4火10:20-12:50  
第2金 13:20 - 15:50  
第3木 17:20 - 19:50  
■男性のための電話相談  
第1土 14:00 - 17:00  
第4木 18:00 - 20:00  
専用電話072-843-5730

※の相談は予約が必ず必要です。それぞれの施設に電話で予約してください。

# 映画「破戒」を観て

十二月十九日、北河内人権啓発推進協議会の啓発事業として、島崎藤村の不朽の名作を映画化した「破戒」が、定員を超える申し込みの中、総合文化芸術センター 関西医大小ホールにおいて上映されました。

映画の始まりで、明治後期、嵐の山中で、小学校の教員となる息子が、父から「被差別部落出身」ということを隠すように」という強い「戒め」を受ける場面が映し出されます。彼は生徒に慕われる評判の良い先生になりますが、

このことで被差別部落に対する偏見や差別を口にする同僚や友人たちの前で、自身の出自を隠すことに苦しむ毎日を送ります。

しかし、ある解放運動家の死をきっかけに、生徒たちに自分の素性を打ち明け、自分に正直に生きる決心をしました。そこに至るまでの葛藤や苦しみが見事に描かれ、痛切に伝わってきました。今の時代、これ

ほどの厳しさはないかもしれませんが、昭和三十年代に私自身が会社勤めをしていた頃に経験したことです。料金が同じだったので、通勤定期券を最寄り駅の次の駅まで購入していました。ある時、上司から定期券の駅名で私の出自を問うていると思われる忠告を受けました。聞くと、その駅の近くに被差別部落があるということでした。その時、私にはなぜそのようなことを言われるのか、理解できま

せんでした。その後、平成、令和と長い時を経ても、今なお被差別部落に対する差別意識は根強く残り、そのことで悩み苦しむ多くの人がいます。今回の映画は、部落差別の撤廃に取り組んだ全国水平社が創立されて百周年となることを記念して製作されたもので、この映画によって、人権について再認識され、少しでも多くの人に人権意識を高めていただけたらと願いました。



## 2022年度の事業報告

- 6月21日(火) 総会・理事会・会員研修会  
ラポールひらかた 大研修室
- 8月12日(金) 夏休み人権映画会  
「すみっこぐらし とびだす絵本とひみつのコ」  
総合文化芸術センター 関西医大小ホール
- 講座「生きること」 ラポールひらかた大研修室
  - ・10月11日(火)「記憶を失うとどうなるのか？」  
坪倉優介さん 草木染作家 ゆうすけ工房
  - ・10月18日(火)「新型コロナウイルス禍の中で『生きること』を考える」 白石由美さん  
市立ひらかた病院 副院長兼看護局長
  - ・10月26日(水)「重い病気のある『きょうだい』がいるということ」 清田悠代さん  
NPO法人 しぶたね理事長
  - ・10月29日(土)「生えてこなかった足」空襲体験記 安野輝子さん 大阪空襲訴訟を伝える会
- 10月7日(金) 協会会員の現地研修会
  - ・水平社博物館見学 (奈良県御所市)
- 11月24日(木) 枚方市人権文化セミナー
  - ・講演会 「孤立からつながりへ」  
講師 今井紀明さん NPO法人D×P (ディーピー、若者の支援活動) 理事長  
ラポールひらかた 大研修室
- 12月8日(木) 枚方市人権週間事業
  - ・講演会 「世界で今何が起きているのか」  
講師 サヘル・ローズさん 俳優  
総合文化芸術センター 関西医大小ホール
  - ・北朝鮮拉致問題パネル展  
総合文化芸術センター マルチスペース1
- 2月2日(木) 映画「かば」上映会と川本貴弘監督のトーク  
総合文化芸術センター 関西医大小ホール

## 会員随時募集

枚方市を市民一人ひとりの人権が大切にされるまちへ (年会費1口 1000円から)

NPO法人枚方人権まちづくり協会

TEL:072-844-8788 FAX:072-844-8799